

自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「その人らしい人生を全うしていただけるよう、私たちはプロとしてお手伝いいたします」という理念の下、地域の資源を活用しながら、地域の一員として共に暮らすことを目指しています	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の言葉の意味を職員で理解し理想に近づけるよう、努力しています。管理者を中心にその都度、共に暮らすとはどういうことか検討しています	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	開所より地域の中の施設として周辺の理解に努め、ボランティアなどの協力の呼びかけを積極的に頂くことが出来、今までの関係を維持しながら、新しいことに取り組んでいきたいと考えています。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	小学校の訪問、納涼会・バザーなど行事の開放、逆に小学校の文化祭、地域からの行事に招待頂き、その都度楽しく参加させて頂いています。管理者が代わった事で、また新たな関係作りも出来たらと思っています。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域ボランティアが運営している市ちゃん喫茶などに参加させて頂いています。利用者の状態、天候などにより、参加回数は減っていますが、少しの人数でも参加することで関係を維持し、交流できたらと考えています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員 の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮 らしに役立つことがないか話し合い、取り 組んでいる	地域の方が気軽に相談できるよう施設全体で取り 組む姿勢を持ち、運営推進会議の場では地域の活 動報告を頂いています。同法人の居宅介護支援事 業の介護者教室も定期的に開催し、協力できると ころは行っています		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び 外部評価を実施する意義を理解し、評価を 活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価作成に職員全員で取り組み、評価を通じての 見直しを行う事で、職員全員の意識統一と質の向 上に努めています。担当職員を中心に改善箇所を 見つけて、改善できるよう取り組んでいます		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこの意見をサー ビス向上に活かしている	インフルエンザ、0-157などその時期の問題を取り 上げ、検討から対策までの状況をまとめて報告 しています	○	家族の参加率がなかなか上がらない為、運営推進 会議の理解を深めると共に、気軽に参加して頂け る声掛けや環境作りを行っていきたい
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	何かあればその都度、電話やメールでの相談・助 言を頂いています。	○	必要に応じて連携はとっていますが、なかなか行 き来する機会がないので、今後もっと積極的に交 流できるよう取り組んでいきたい
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成 年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々 の必要性を関係者と話し合い、必要な人 にはそれらを活用できるよう支援している	現在4名の利用者がそれぞれのニーズに合わせた 成年後見人制度を活用されてます。研修会にも参 加し、職員全員がどの方がどういった利用をされ ているか把握できるよう取り組んでいます		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	施設内研修などで意識統一を図り、いかに利用者 が穏やかに安定した生活を送って頂けるかを考 え、職員一人一人が自覚を持ち、防止に努めてい ます		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>		
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	○	時間によっては、職員は忙しいと感じさせてしまうこともある為、忙しさの見せない動き、話しかけやすい雰囲気に関心したいと思っております
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動の職員がこまめに顔を出してくれたり、施設内でも顔を合わす機会がある為、なじみの関係が継続され利用者は安心されています。新人職員が入職した際は、担当を決め指導に当たっています。紹介は施設の季刊誌でも行っています		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症実践者研修や新人・中堅者研修など個々に合わせて参加しています。また、施設内研修を月1回開催し、テーマによって専門職の協力や外部からの講師を招いて、施設全体で質の向上に取り組んでいます		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に加入し、周辺施設の情報交換や見学の受け入れなど行っています。また、他施設の取り組みを参考にさせていただきながら、自施設のサービス向上に役立てています		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	それぞれにコミュニケーションをとる機会を多く持ち、職員同士が気持ちよく業務に集中できる雰囲気作りに心掛けています。職員から挙がってきた意見を大切に反映できるよう取り組んでいます		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個々の職員の成長に合わせた研修への参加を促がし、施設の委員会活動などの役割を当て、職員それぞれがプライドを持って取り組める環境作りに心掛けています		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	不安が少しでも軽減できるように、申し込みの相談からゆっくり、しっかりお話を聞かせて頂いています。希望に応じて何度でも見学や問い合わせに応じています	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	不安が少しでも軽減できるように、申し込みの相談からゆっくり、しっかりお話を聞かせて頂いています。希望に応じて何度でも見学や問い合わせに応じています	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の時点で、求められているニーズに対して、他のサービスの説明を行うなど選択肢を広げて頂きながら、必要に応じて同法人内の居宅支援や小規模多機能施設に協力を呼びかけ、納得してサービスを選んでいただけるよう援助しています	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	環境に慣れるまで家族と一緒に泊まって頂いたり、職員が寄り添う時間を多く持ったり、その都度ケースに応じて臨機応変に対応しています	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	「共に暮らす」ということを目標に、共に過ごす、共に行う生活、家庭を感じられる環境、関係作りを築いていきたいと思っています	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族からは鉢植えを季節ごとに入れ替えて下さったり、歌う会やステンシル教室を企画し開催して下さったりと様々な面で協力して頂いています。施設側からも家族への参加行事を計画するなどしています		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族と共に参加して頂ける行事の企画や状態の報告も含めて、必要に応じて写真を活用したり、コミュニケーションのお手伝いができる援助を心掛けています		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近所の方、馴染みの方も面会に気軽に来て頂いています。時々、馴染みの場所に出掛けたり、昔の写真集を見たり、手紙を頂いた時にはお返事の手紙を作成したりと個々に応じた援助を行っています		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員が間に入りながら、馴染みの遊びや共通の話題にて、楽しい時間を一緒に過ごせるよう援助しています	○	一人で過ごす事を好まれる利用者に対して本人が嫌がらない程度の関わり合いのアプローチが出来ればと考えます
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院されても定期的に面会に訪問させて頂いたり、退所されたご家族にも、手紙のやりとりや行事の案内を出し、手伝いにきて下さるなど継続して良い関係を保っています		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	買い物や外食などの希望や訴えに対して、臨機応変に出来るだけすばやく対応できるように努力しています	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の面接で情報を頂き、その後も利用者・家族との会話の中でその都度知りえた情報などを参考に、余暇活動に取り入れたり、居室環境を整理したり利用者の理解に努めています	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人一人の得意な作業、興味など日々の活動の中で理解し、現状把握に努めています	○ 状態の変化により、出来ることが徐々に少なくなっていく中で、どう対応していくか課題です
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	課題に対して担当グループ中心に意見をまとめ、全職員が理解できるよう張り出し、口頭での説明を行います。その都度関わりの中で利用者・家族の希望を確認し、医師の意見も取り入れながら介護計画に反映させています	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間を6ヶ月とし、変化に対してはその都度家族に報告し、担当グループで話し合い必要に応じてプランの見直しと変更を行っています	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録は個別サービス記録・業務日誌に記録しています。申し送りノートがあり、職員は確認後サインをするように統一し、情報の共有に努めています		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	系列の訪問看護ステーションとの連携で医療連携体制を実施しています。また特別な外出の付き添い援助（映画・結婚式など）として、希望があれば相談のもとご協力させて頂いています		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的に詩吟、日本舞踊のボランティアが来て下さるほか、大正琴、雀踊りなどたくさんの方に支えて頂いています。また消防訓練も実施し、安全に努めています		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	馴染みの関係の継続で、併設されているデイサービスや居宅支援事業所スタッフとの連携もあり、一緒にデイサービスに参加したり、担当していたケアマネジャーに話を聞いてもらったりしています		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現状ではその様な意向、機会がありませんでした	○	今後、必要に応じて検討していきたい

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	考えられるリスクは十分に説明を行い、少しでも最小限にダメージを食い止められるよう努めています。また、移り住む際にも家族に細かな情報の提供を行い、継続した援助が受けれるよう支援しています		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	排泄や入浴など、それぞれの状態に配慮し援助しています。年度始めにはサービスマナー・個人情報保護の勉強会を行い再認識と意識の統一に努めています。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	外出企画では、数種類のコースを用意し、その中から選んで参加していただきました。外出時のメニュー選びやおやつバイキング、日常にも服を選ぶ、飲み物を選ぶなど自分で選択し決定する機会を大切にした援助を心掛けています		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日、ある程度の日課はあるものの、利用者の希望や要望にはその都度対応できるよう心掛け、気候や天候などその日の状態で余暇活動が楽しめるよう臨機応変に取り組んでいます。また、入浴も好きなときに入っていただけよう常に準備をしています		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	毎日の身だしなみの援助を心掛けています。訪問理美容があり、その他馴染みの美容室に家族と出掛けられたり、家族がカットされたり、それぞれの希望で対応しています。また、行事や外出の時は、希望に応じてお化粧の援助もしています		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者、家族と相談の上、自己管理、見守りの管理、預かりの管理など状態にあわせた支援を行っています。買い物時は支払い動作を共に行い買い物を楽しんで頂いています		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の利用者の状態や天候に応じて声掛け行い、近隣の公園や商店街、神社への散歩、ドライブなどに出掛けています		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	日帰りの外出、一泊旅行、映画などその都度、季節やイベントに応じて企画を立て、希望に応じて出掛けています		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	1階の公衆電話を自由に利用されます。また、希望にあわせて援助が必要な時はその都度対応しています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時は飲み物を飲んで一緒に過ごして頂いたり、余暇活動の卓球やクロスワードパズルを一緒に楽しんで頂いたり、気軽に過ごして頂けるよう心掛けています		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	リスクとあわせて身体拘束の勉強会を取り入れ、意識統一を図っています。身体拘束と考えられる行為はせず、安全に配慮した見守りを強化しています		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>		
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>		
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>		
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>		
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	施設全体で感染症対策委員会を中心にマニュアルを作成しており、時期ごとに勉強会をとおして再確認を行い、その都度職員全員で注意を促がしています。また、インフルエンザについては、早めに予防接種を受けています		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	手洗い・うがい消毒の励行と、週一回衛生日を設けて物品の消毒と清掃を行っています。冷蔵庫の整理はそ都度行い、利用者個人の冷蔵庫はチェック表を作成するなどして賞味期限の確認をしています		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	建物周囲には樹木を植え、季節の花が楽しめるようになっています。玄関にも四季に応じた飾り物などを設置しています。また、5階・6階のグループホーム入り口には格子戸があり、やさしい音のベルで出入りを知らせてくれるようにしています		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	一つ一つに空間を広くゆとりあるものにしてあり、花や飾りで利用者と作成した展示物で季節感を現しています。カーテン・照明にも気を配り、天候などにあわせて調節しています		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室だけでなく、座ってくつろぐことのできる空間がいくつかあり、それぞれのお気に入りの場所で過ごして頂けるよう援助しています	○	談話室があり、季節に応じて模様替えを行っていますが、利用者が過ごす頻度が少ない為、もう少し工夫をして活用していければと考えます

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	入居時には使い慣れた馴染みの物を持参して頂 き、なるべく自宅を再現してくださいとお願いし ています。少しずつ必要なものを取り入れなが ら、安心して過ごして頂ける環境作りを一緒に 行っています		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	常に環境には気を配り、換気に努め過ごしやす い温度（冷房27度・暖房24度を目安）を調整し ています。湿度計を確認し必要であれば加湿器も 活用しています。各居室の空調はそれぞれに調節 できますが、集中管理で状態の確認を行い、調整 もしています		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	手すりなどの工夫と居室のスイッチは状態に応じ て説明書きを加えるなど、その都度状況に応じた 環境作りを心掛けています。利用者の変化に伴 い、改修する必要がある場所は主任・管理者と相 談しながら対策しています。各フロアには車椅子 用トイレも設置しています。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	馴染みの作業、出来ること出来ないこと、必要な 援助をその都度見極め、作業内容を分担しなが ら、共に行いさりげなく援助することで混乱を防 ぐようにしています		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	花や野菜・果物を植え、水やりや手入れを一緒 に行っています。また、気候の良い日にベランダで 食事をしたり、ティータイムを楽しんでいます		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

施設の特徴である、併設しているからこそ出来るサービスとして、他部署との連携や職員同士の協力で、利用者に対してのサービスも広がり、家族にも安心して頂き、さまざまな形で楽しんで頂いています。利用者のその時々の変化を把握し、希望、要望に応えることができるよう、今後も変わらず臨機応変なサービスを心掛けたいと思います。